

～夜の活動～

キャンプファイヤー

福岡市海の中道青少年海の家
2024年12月1日改訂



1.活動概要

夜空の下で火を囲みながら、仲間と歌や出し物・ゲームなどを行い、友情を深めます。

楽しい思い出を作るとともに研修のまとめを行う活動です。

2.めあて

【自然に学ぶ】

○(本物に触れる)

・大きな炎を仲間と囲み楽しむ。

○(自然の中で遊ぶ)

・夜の自然を楽しむ。

【人とのつながり】

○(親睦・交流)

・炎を囲んで仲間と過ごすことを通して交流(親睦)を深める。

【自分を高める】

○(アウトドアスキル)

・薪組みをすることができる。

3.準備

【1】準備物

海の家 : 灯油、マイク、延長コード、アンプ、衣装、清掃道具

団体 : 救急用品、トーチ(5本程度)、チャッカマン、衣装、軍手(綿100%のもの)、出し物に必要なもの、懐中電灯

◇トーチの作り方

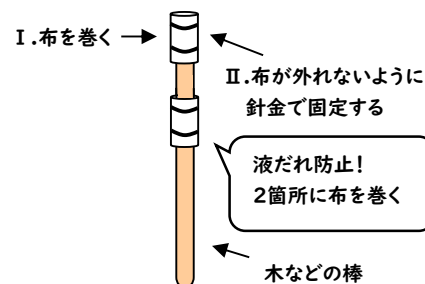
① 1m20cm程度の棒を準備する。

※竹の棒を使用する場合は、等間隔に穴をあけておく。

② 棒の先端に布を巻き付け、針金で固定する。

※化繊の布や紐は使用しないこと。

※液だれ防止のため、2箇所布を巻く。



【2】引率者の役割

○ 準備指導

○ 活動の進行や補助

○ 安全管理 ※火の管理は、施設職員が行う。

○ 道具などの管理

○ 片付けの指導

【3】班編成

レクリエーションの内容や出し物によっては必要。

4.実施上の留意点

○ 風の状況によって実施不可になる場合がある。

※当日の、代表者会議までに実施の可否を決める。

○ 施設の貸出物品は、数に限りがあるため、他団体と譲り合って決める。

○ 火に近付かせないなど、安全管理を十分に行う。

○ 火の神様役に、点火や入場のタイミングを伝えておく。

○ 原則として、薪組みや音響機器のセッティングなどの事前準備は、海の家職員指導の下、学校・団体で行う。

○ 事前準備の時間も確保したうえで、計画を立てること。

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き FC…ファイヤーサークル

目安時間	活動内容	留意点
準備 (30分)	▼必要なものを貸し出し、FCまで引率する。 ○貸し出し物を受け取り、FCへ移動する。 ▼薪組みや準備について説明する。 ○話を聞き、薪組みや準備をする。	●灯油は、研修生に扱わせない。 ●トーチは、両手でしっかり持ち、斜め前方に掲げて持つよう研修生に指導する。 ●音響の確認やリハーサルを行う。
移動 (10分)	◎準備ができたならFCへ引率する。 ○FCへ移動する。	●雰囲気を作るため、静かに入場させる。
活動 (60分～ 90分)	○司会進行をする。 ◎司会進行の補助をする。 ▼火の管理をする。 ◎安全管理をする。 <u>◇キャンプファイヤーのながれ</u> ① 迎え火のつどい ・火の神様が入場し、代表の研修生に分火する。 ・火の神様と代表の研修生で、FC内に点火する。 ② 交歓のつどい ・歌やダンス、出し物を楽しむ。 ③ 送り火のつどい ・火の神様が退場する。	●入場のタイミングを、火の神様役と事前に打ち合わせしておく。 ●火には近付かせない。 ●火の粉に気を付ける。
移動 (10分)	◎移動させる。 ○移動する。	●片付けがあるため、係の研修生は残しておく。
片付け① ※当日 (10分)	◎片付けをさせ、道具を返却させる。 ○片付けをし、道具を返却する。 ▼道具を受け取る。 ▼消火をする。	●施設の貸出物品がある場合は、数を確認する。 ※道具は事務室に返却する。
片付け② ※翌日 (30分)	◎片付けをさせる。 ○片付けをする。 ◎片付け終了後、事務室に報告する。	●片付けの仕方は、別紙「片付けについて」参照。 ※当日、引率者に渡す。 ●清掃道具を返却する。 ※軽く水洗いし、芝生の上に並べておく。

- a. 対象学年 : 小学生以上 ※未就学児は要相談
- b. 定員 : <大ファイヤーサークル> 300人程度
 <中ファイヤーサークル> 200人程度
 <小ファイヤーサークル> 60人程度
 <西ファイヤーサークル> 50人程度
- c. 関連教科 : 保健体育科、音楽科、総合的な学習の時間
- d. 実施可能時期 : 通年
- e. 実施可能な天候 : 荒天時以外
- f. 所要時間 : <当日> 1時間30分～2時間程度
 (準備30分、翌日の片付け30分を除く)
 <翌日> 片付け30分程度
- g. 実施場所 : 大FC、中FC、小FC、西FC
 ※中FCと西FCは風に注意